

ミスミグループ本社 2022年3月期 連結業績

～好調な需要および独自施策により
売上高、利益ともに過去最高を更新～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期	増減率
売上高	310,719	366,160	+17.8%
営業利益	27,199	52,210	+92.0%
純利益	17,138	37,557	+119.1%
1株当たり純利益	60.36円	132.15円	

<2022年3月期の連結業績ハイライト>

1. 売上の拡大、収益改善の取り組みおよび為替効果により大幅増益

- 当連結会計年度における世界経済は、コロナ禍からの回復が進む中、グローバルで自動化需要が総じて高水準で推移しました。一方、サプライチェーンにおいて不透明な状況が続いており、各種材料や部品の品薄状況が改善されず、一部供給が困難であったこと、生産設備の立ち上げや稼働率が頭打ちになったこと、期末にかけてウクライナ情勢や中国のコロナ影響などにより、さらに混乱する状況となりました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。
これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、全地域で回復した自動化需要を的確に捉えることに尽力しながら、昨年度から取り組んでいる収益改善策を徹底継続し、一部供給制約がありましたが、グローバル確実短納期の強みを発揮してきました。
- この結果、連結売上高は366,160百万円、前年同期比17.8%増(現地通貨ベース13.1%増)となりました。利益面につきましては、売上高の拡大、収益改善効果および為替効果により、営業利益は52,210百万円(前年同期比92.0%増)、経常利益は52,500百万円(前年同期比93.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は37,557百万円(前年同期比119.1%増)となり、売上高、利益ともに過去最高を更新しました。

2. 全事業セグメントで拡大する需要を確実に捉え、対前年大きく成長

2022年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2021年3月期	2022年3月期	円ベース	現地通貨ベース
FA事業	102,244	119,253	+16.6%	+11.8%
金型部品事業	66,871	75,108	+12.3%	+6.1%
VONA事業	141,602	171,799	+21.3%	+17.3%
合計	310,719	366,160	+17.8%	+13.1%

- FA事業は、旺盛な自動化需要により全ての地域で大きく伸長し、前年同期比 16.6%の増収となりました。
- 金型部品事業は、米州・アジアがけん引し、グローバルで自動車関連需要が回復したことにより、前年同期比 12.3%の増収となりました。
- VONA事業は、低収益商品の販売中止や一部商品不足の影響を受けたものの、グローバルで自動化関連需要を獲得したことにより大きく成長し、前年同期比 21.3%の増収となりました。

3. 各地域ごとに需要が堅調に推移し大きく伸長

2022年3月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2021年3月期	2022年3月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	154,748	175,463	+13.4%	—
海外	155,970	190,696	+22.3%	+12.8%
中国	63,517	74,986	+18.1%	+5.2%
アジア	43,126	53,918	+25.0%	+18.5%
アメリカ	27,548	33,899	+23.1%	+15.8%
ヨーロッパ	16,089	20,781	+29.2%	+21.8%
その他	5,689	7,110	+25.0%	+14.2%

- 日本では半導体関連を中心に市況が回復し、前年同期比 13.4%の増収となりました。
- 海外各地域とも堅調に推移し、売上は前年同期比で 22.3%伸長しました。

4. 年間配当金は 33.04 円の予定

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2022年3月期につきましても、この基準を引き続き維持する方針です。
- 2022年3月期の業績実績により、期末配当金は14円71銭(前年比5円53銭増)を予定しております。これにより、年間配当金は第2四半期末の18円33銭と合わせ、33円04銭(前年比17円95銭増)となる予定です。

	年間配当金					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	—	—	14.23	25.0%	32.56	25.0%
当期実績	18.33	25.0%	14.71	25.0%	33.04	25.0%
前期実績	5.91	25.0%	9.18	25.0%	15.09	25.0%

5. 連結業績予想について

- 2023年3月期の連結業績予想については、下記のとおりとなります。
今後の新型コロナウイルス感染症拡大や地政学リスクの高まりなど事業環境の変化により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2023年3月期 連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	403,500	57,300	57,600	42,000	147.72
当期実績	366,160	52,210	52,500	37,557	132.15
増減率(%)	+10.2%	+9.7%	+9.7%	+11.8%	—

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2023年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2022年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム
Tel: 03-5805-7037 Fax: 03-5805-7014
mail: cc@misumi.co.jp